

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 令和 4 年 10 月 14 日 (2022.10.14)

【国際公開番号】 WO2021/192907
【出願番号】 特願 2022-509483 (P2022-509483)
【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232(2006.01)

H 0 4 N 5/225(2006.01)

G 0 3 B 15/00(2021.01)

G 0 3 B 17/18(2021.01)

10

【F I】

H 0 4 N 5/232 2 2 0

H 0 4 N 5/225 0 0 0

H 0 4 N 5/232 9 3 9

G 0 3 B 15/00 P

G 0 3 B 17/18 Z

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 8 月 4 日 (2022.8.4)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理装置が、

情報処理装置の傾きを検出し、

情報処理装置の傾き方に応じて異なる、情報処理装置の傾きに応じた情報を出力する
出力方法。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の出力方法であって、

情報処理装置の左右方向の傾きと、手前奥方向の傾きと、を検出し、

左右方向の傾きを検出した際と手前奥方向の傾きを検出した際とで異なる情報を出力する

出力方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の出力方法であって、

左右方向の傾きを検出した際と手前奥方向の傾きを検出した際とで異なる方法で調整した音を出力する

40

出力方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の出力方法であって、

左右方向の傾きを検出した際に音程と音の長さのうちのいずれかを調整した音を出力し、
手前奥方向の傾きを検出した際に音程と音の長さのうち左右方向の傾きを検出した際とは異なる方法で調整した音を出力する

出力方法。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の出力方法であって、

50

情報処理装置が傾いている場合に２種類の音を出力し、
情報処理装置が傾いていない場合に１種類の音を出力する
出力方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の出力方法であって、
情報処理装置の傾きを示す情報を画面表示部に表示する
出力方法。

【請求項 7】

情報処理装置の傾きを検出する検出部と、
情報処理装置の傾き方に応じて異なる、前記検出部が検出した情報処理装置の傾きに
応じた情報を出力する出力部と、
を有する
情報処理装置。 10

【請求項 8】

請求項 7 に記載の情報処理装置であって、
前記検出部は、情報処理装置の左右方向の傾きと、手前奥方向の傾きと、を検出し、
前記出力部は、前記検出部が左右方向の傾きを検出した際と手前奥方向の傾きを検出し
た際とで異なる情報を出力する
情報処理装置。

【請求項 9】

情報処理装置に、
情報処理装置の傾きを検出する検出部と、
情報処理装置の傾き方に応じて異なる、前記検出部が検出した情報処理装置の傾きに
応じた情報を出力する出力部と、
を実現するためのプログラム。 20

【請求項 10】

請求項 9 に記載のプログラムであって、
前記検出部は、情報処理装置の左右方向の傾きと、手前奥方向の傾きと、を検出し、
前記出力部は、前記検出部が左右方向の傾きを検出した際と手前奥方向の傾きを検出し
た際とで異なる情報を出力する
プログラム。 30